

# 日本社会情報学会ニュース

第 29 号 2008. 4.25

- I 新会長の挨拶
- II 理事会役員の変替, 役割分担および委員会構成について
- III 2008 年度 13 回研究大会に関する詳細
  - 〈1〉 開催校と日程ほか
  - 〈2〉 第 11 回大会実行委員会
  - 〈3〉 一般自由報告、ワークショップ企画案の募集について
  - 〈4〉 開催要綱概要
- IV 2007 年度第 13 回総会報告
- V 2007 年度合同研究大会報告
- VI 学会誌『社会情報学研究』原稿募集
- VII 会費の納入について
- VIII 事務局より

.....

## I 新会長の挨拶

### 会長就任にあたってのご挨拶

会長 黒 須 俊 夫

本社会情報学会 (JSIS) が創設されて 13 年経ちます。今、JASI との研究大会の共同開催も軌道に乗って来ていますし、英文雑誌「Journal of Socio-Informatics」の共同刊行の運びとなり、新しい関係の時代が到来しております。しかし、先の理事会懇談会では、「2 つの学会の合併を展望しつつも、早急な「合併」は避けるべき」という意見が多数を占めておりましたことから、この 2 年間で、じっくり私たち JSIS の現状と課題を見極め、将来の発展のための体力をつける期間と位置づけたいと思います。

本会規約第 4 条に本会が達成すべき事業として以下の 7 点が明示されています。

- (1) 会員の研究発表及び講演会の開催
- (2) 会員の研究上の交流と協力の推進
- (3) 機関誌及びその他の出版物の刊行
- (4) 内外の諸団体との交流及び協力
- (5) 社会情報に関する学術的調査研究
- (6) 社会情報学に関する教育の推進
- (7) その他本会の目的達成に必要と認められる事業

上記の諸点について詳しい分析はひとまずおいて、概括的に見れば、(1) (3) (4) については、それなりの達成度にあるものと考えられます。特に、最近の JASI との共同によ

る研究大会の開催及び英文雑誌の発行は極めて有意義なものといえるでしょう。

しかし、(2)(5)(6)については、まだ不十分な状態ではないでしょうか。むしろ、個々の会員がそれぞれの所属先において、これらについて積極的に推し進めておられることは学会発表やシンポジウム等から伺い知れる所ですが、「学会として」という点から見ると、まだまだの状態にあるものといえます。そこで、今期、新たな重点課題として次のような点に取り組みたいと思います。

#### '08-'09 期の重点課題

- 1) 研究委員会の実質的な活動を促進し、(5)や(2)について促進する。
- 2) (2)(6)の促進のために、「企画委員会」(仮称)を設け、社会情報学に関する宣伝や教育、各種交流の在り方などを考える。また、本会ホームページの充実や和雑誌論文の Web 上にアップすることなど、JSIS の社会的認知を促進させる。
- 3) 英文学会誌の持続的発行及び和文学会誌のいっそうの充実を図るとともに、合同研究大会を成功させる。
- 4) 2つの学会による共同研究の推進を図る。

「3選禁止」によって、若返るというよりも今回は極めて未熟な会長の誕生という事態が生じてしまいましたが、遠藤薫・大國充彦副会長をはじめ理事・監事、そして新事務局との連携を密にしつつ、チーム力でことにあたっていきたいと考えておりますので、会員各位におかれましては、積極的なご支援をよろしく願いいたします。

2008年 4月

## II. 理事会役員の変替、役割分担および委員会構成について

2008年4月5日(土)に2008年度第1回理事会(通算49回)が開催され、新たに、編集委員会の拡充(和雑誌担当編集委員会に加えて英文雑誌担当編集委員会の設置)及び企画委員会を設置すること及び各理事の任務分担等について審議し、以下のとおり承認されましたのでお知らせ致します。なお、2つの編集委員会委員については、新たな陣容が決まりましたのでお知らせいたします。また、下記の方以外にも委員を委嘱することもありますので、そのつどご報告いたします。

会長	黒須 俊夫：群馬大学
副会長(主として渉外担当)	遠藤 薫：学習院大学
大國充彦(主として学会内担当)	大國 充彦：札幌学院大学
1) 雑誌編集委員会	
編集委員長	橋元 良明：東京大学
副委員長(英文雑誌担当)	今田 寛典：呉大学
副委員長(和文雑誌担当)	北村 順生：新潟大学
2) 研究委員会	
委員長	森谷 健：群馬大学
副委員長	守弘 仁志：熊本学園大学

- |                |                   |
|----------------|-------------------|
| 同 上            | 吉田 純 : 京都大学       |
| 同 上            | 柴田 邦臣 : 大妻女子大学    |
| 委 員            |                   |
| (北海道地区)        | 高橋 徹 : 札幌学院大学     |
| (東北信越地区)       | 北村 順生 : (前出)      |
| (関東地区)         | 森谷 健 : (前出)       |
|                | 柴田 邦臣 : (前出)      |
| (中部地区)         | 横井 茂樹 : 名古屋大学     |
|                | 加藤 晴明 : 中京大学      |
| (近畿地区)         | 黒葛 裕之 : 関西大学      |
| (中国四国地区)       | 今田 寛典 : (前出)      |
| (九州地区)         | 守弘 仁志 : 熊本学園大学    |
|                | 杉山あかし : 九州大学      |
|                | 森田 均 : 長崎シーボルト大学  |
| 3) 学会賞選考委員会    |                   |
| 委員長            | 吉井 博明 : 東京経済大学    |
| 委 員            | 吉見 俊哉 : 東京大学      |
|                | 横井 茂樹 : (前出)      |
|                | 田村 泰彦 : 群馬大学      |
|                | 阿部 圭一 : 愛知工業大学    |
| 4) 法規委員会       |                   |
| 委員長            | 岡田 安功 : 静岡大学      |
| 委 員            | 大國 充彦 : (前出)      |
|                | 黒葛 裕之 : (前出)      |
| 5) 合同研究大会企画委員会 |                   |
| JSIS 企画委員代表    | 安田 孝美 : 名古屋大学     |
| '08 企画委員       | 森谷 健 : (研究委員長、前出) |
|                | 阿部 圭一 : (前出)      |
|                | 黒須 俊夫 : (前出)      |
|                | 遠藤 薫 : (前出)       |
|                | 柴田 国臣 : (前出)      |
| 6) 渉外・交流委員会    |                   |
| 委員長            | 遠藤 薫 : (前出)       |
| 副委員長           | 黒須 俊夫 : (前出)      |
| 7) 企画委員会       |                   |
| 委員長            | 大國 充彦 : (前出)      |
| 委 員            | 柴田 国臣 : (前出)      |
| 8) 総括理事        | 岡田 安功 : (前出)      |
| 9) 監事          | 横井 茂樹 : (前出)      |
|                | 加藤 晴明 : (前出)      |

10) 事務局  
事務局長

静岡大学情報学部  
藤井 史朗：静岡大学

### Ⅲ. 2008 年度 13 回研究大会に関するお知らせ

2008 年度第 13 回日本社会情報学会（JSIS）研究大会は、昨年度と同様に、JASI との合同研究大会として開催いたします。

開催日時、会場、参加申し込み等は、次の通りです。

#### 1. 日程と開催場所等について

1) 統一テーマ 検討中

2) 開催日程 2008 年 9 月 12 日（金）、13 日（土）、14 日（日）の三日間

\*JSIS 総会 9 月 13 日（土）昼頃の予定（決まりしだい公表します）

\*第 1 日の 12 日には、JASI チュートリアルや自治体ワークショップなどが開催されますが、今回は、会場の教室の数の関係で、併行してワークショップが開催される予定です。

3) 開催場所 東京大学本郷キャンパス（山上会館、学環福武ホール、工学部 2 号館）

\*（具体的な校舎・教室については、後日、お知らせします。）

4) ホームページ（次の HP をご覧ください）

〈JSIS〉関連の開催情報 <http://wwwsoc.nii.ac.jp/jsis/>

5) 参加申し込み方法と参加費：昨年どおり。

参加費は、事前申し込みの場合、「一般会員 5,000 円」、「学生会員 2,000 円」ですが、期日以降は、「一般会員 6,000 円」、「学生会員 2,500 円」と高くなります。

なお、事前申し込み等の締め切り期日については、JASI との合同企画委員会で決定されしだいホームページに掲載いたします。

#### 2. 一般自由報告の申し込みと発表要旨原稿締切りについて

以下の予定にご留意いただき、多くの発表希望をお寄せいただきますようお願いいたします。

### ● 5 月 23 日（金）一般自由報告の申し込み締め切り

申し込み先：

企画委員会代表 安田 孝美（名古屋大学）

申し込み専用 E mail アドレス：[jsis@comet.mdg.human.nagoya-u.ac.jp](mailto:jsis@comet.mdg.human.nagoya-u.ac.jp)

\*申し込み用紙は、JSIS のホームページに載せておきますので、それをダウンロードして、以下の必要事項を記入して担当者宛にお送りください。

\*ただし、メールの件名は、一般報告申込としてください。

- 
1. 発表者名
  2. 所属
  3. 論文題名

#### 4. 概要（200字程度）

-----

### ● 6月30日(月) 一般自由報告論文原稿締め切り

原稿送付先：企画委員会代表（担当：安田 孝美）

原稿送付専用 Email アドレス：[jsis@comet.mdg.human.nagoya-u.ac.jp](mailto:jsis@comet.mdg.human.nagoya-u.ac.jp)

\*研究発表論文集原稿の執筆要項は、目下、合同企画委員会にて統一要項の改訂をめぐって検討中ですので、決まりしだい上記の学会のホームページに掲載致しますので、それを参照してください。今回は、原稿枚数は、4ページもしくは6ページとなります。

### ○ワークショップ企画案の募集について

ワークショップ企画案の原稿は、企画内容に関して600字以内にまとめ、報告者/司会者/討論者)自薦・他薦どちらでも可)を明記の上、企画委員会(担当:安田)まで、MAIL等にて申し込みをお願いします。この後、合同企画委員会で提案内容について検討します。

### ワークショップ企画案の提案締め切り日 5月23日(金)

企画案/原稿送付先 企画委員会代表(安田)

企画案受付専用E mail アドレス：[jsis@comet.mdg.human.nagoya-u.ac.jp](mailto:jsis@comet.mdg.human.nagoya-u.ac.jp)

\*ただし、メールの件名は、WS 企画提案としてください。

### ワークショップ原稿締め切り日 6月30日(月)

企画原稿受付専用E mail アドレス：[jsis@comet.mdg.human.nagoya-u.ac.jp](mailto:jsis@comet.mdg.human.nagoya-u.ac.jp)

\*ただし、メールの件名は、WS 企画提案としてください。

## IV. 2007年度第13回総会報告

2007年度第13回総会は、9月8日(土)午後1時より、当日出席者??名、委任状??名の参加(合計???名、定足数???名)を得て、名古屋大学工学部IB電子情報館1階014において開催されました。阿部圭一会長の挨拶に続き、阿部会長を議長として、以下の報告ならびに審議が行われました。

#### 【報告事項】

(1) **一般会務報告** 長田総括理事より、前年度第12回総会以降の理事会開催状況ならびに審議事項および会員数について以下のとおり報告された。

第12回総会(2006年9月12日)以降の開催状況は以下のとおりである。

#### ◆ 第45回理事会・2007年3月30日(金)

1. 第44回理事会議事録(案)の承認について
2. 入・退会の承認について

3. 2007 年度第 12 回研究大会について
  - 1) JSAI との合同大会について
  - 2) 大会統一テーマとして「社会情報学の教育」を承認した
  - 3) 一般セッション・報告募集スケジュールなど
4. 2007 年度理事選出日程について
  - 1) 研究大会・総会準備等を考慮し、6 月中旬から 7 月中旬に実施する
  - 2) 選挙管理委員会の構成と委員選出
5. 次回理事会日程 (7 月 28 日)

◆ 第 46 回理事会・2007 年 7 月 28 日 (土)

1. 第 45 回理事会議事録 (案) の承認について
2. 入・退会の承認について
3. 次期理事の選出結果および理事・監事選出について
4. 2007 年度第 12 回研究大会について
  - 1) ポスター・プログラム等の確認
  - 2) アナウンスについて
  - 3) 研究発表賞の設置について
5. 2007 年度第 13 回総会議題について
6. 「著作権に関する取扱規程」(案) について
7. 会員の処分について
8. 会費長期滞納者に関する扱い (案) について
9. 2008 年度第 13 回研究大会について
10. 事務局移転について
11. 次回理事会日程 (9 月 8 日)

◆ 第 47 回理事会・2007 年 9 月 8 日 (土)

1. 第 46 回理事会議事録 (案) の承認について
2. 入・退会の承認について
3. 次期会長・副会長等について
4. 「著作権に関する取扱規程」(案) の確認
5. 会費長期滞納者に関する扱い (案) について
6. 第 12 回総会議事録 (案) について
7. 2006 年度決算 (案) および監査報告について
8. 2008 年度予算 (案) について
9. 次回理事会日程

以上の報告に引き続いて、2007 年 9 月 7 日現在、会員数は???名であることが報告されました。

(2) 学会誌編集委員会 炭谷編集委員長より、『社会情報学研究』12 巻 1 号の編集中であること、12 巻 2 号のエントリーは 9 月末日であること、特集などの依頼論文の際には協

力をお願いすることについての報告がなされました。

(3) **研究委員会報告** 伊藤委員長より、各地区研究会開催は研究大会終了後、年度後半になる旨の報告がありました。

(4) **学会賞選考委員会** 正村学会賞選考委員長より、2007年度日本社会情報学会研究奨励賞を北村智会員（東京大学大学院学際情報学府博士課程）著「対面および携帯メールの社会的ネットワークと孤独感」（『社会情報学研究』2005年、10巻1号所収）に授与する旨、報告があり承認されました。

(5) **2008年度第13回大会について** 阿部会長より、第13回大会については、合同大会の方向で考えているが、会員の意見を集約して決めたいとの方針が示されました。これらの意見を考慮して開催曜日を検討することになりました。

(6) **社会学系コンソーシアムについて** 阿部会長から学術会議の構成が従来の学会代表から個人になったので、社会学関連学会から「社会学系コンソーシアム」を結成し学術会議メンバーを推薦したい旨の申し出があるが、理事会の判断に一任してほしいと報告があった。

#### 【審議事項】

##### (1) 第12回総会議事録(案)の承認について

以下の議事録が承認されました。

2006年度日本社会情報学会(JSIS)第12回総会議事録(案)

日時：2006年9月12日(火)13:00～14:00

場所：学習院大学創立百周年記念会館1階正堂

#### ◎総会の成立

長田総括理事より、出席者35名・委任状提出者95名（合計130名）であり、会員数448名の定足数118名を上回っており、総会が成立したことの確認があった。

#### ◎議長選出

阿部会長を議長に選出した。

#### ◎会長挨拶

阿部会長より挨拶があった。

#### ◎総会議題

##### 【報告事項】

##### 1 一般会務報告

長田総括理事より資料に基づき、理事会の開催状況・会員数・会費納入状況について報告があった。

##### 2 学会誌編集委員会報告

炭谷編集委員長より、『社会情報学研究』11巻1号の編集中であること、11巻2号のエントリーは9月末日であること、特集などの依頼論文の際には協力をお願いすることについて報告があった。

##### 3 研究委員会報告

伊藤研究委員長より報告があった。

##### 4 学会賞選考委員会報告

正村学会賞選考委員長より、2006年度日本社会情報学会研究奨励賞について報告があった。受賞者は北村智氏（東京大学大学院学際情報学府博士課程）、受賞論文「対面および携帯メール

の社会的ネットワークと孤独感」、掲載誌『社会情報学研究』10巻1号、2005年。

5 2007年度第12回大会について

阿部会長より、第12回大会については、合同開催の方向で考えているが、会員の意見を集約して決めたいという方針が報告された。

これに対し、合同開催の場合、土曜・日曜日の開催を希望する旨の意見が複数の方の意見として提出された。これに対し、JASIのメンバーにいる地方自治体職員は、土曜・日曜は出張扱いにならないとの指摘があった。

意見を踏まえて、開催曜日について検討することとなった。

6 会誌論文および大会報告要旨に関する著作権について

阿部会長より、標記の件について理事会で検討を開始する旨の報告があった。

7 その他

なし。

【審議事項】

1 第11回総会議事録(案)の承認について

阿部会長より標記の件につき提案があり、異議なく承認された。

2 「会費未納の場合の取扱いに関する規程」および「学会実施細則」の改正について

黒葛法規委員より資料に基づき、標記の件につき説明と提案があり、異議なく承認された。

3 名誉会員の推薦について

阿部会長より資料に基づき、田崎篤郎会員を名誉会員に推薦したい旨の提案があり、異議なく承認された。

4 2005年度決算(案)および会計監査について

炭谷前事務局長より資料に基づき説明があり、阿部会長から補足説明があった。小林監事より会計監査報告があり、標記の提案は異議なく承認された。

5 2007年度予算(案)について

長田総括理事より資料に基づき説明と提案があり、異議なく承認された。

6 その他

なし。

なお、総会終了後、学会研究奨励賞の授与式が行われた。

(2) 次期理事の選出結果について

高橋選挙管理委員(千葉選挙管理委員長代理)から、2007年7月実施した次期理事選出結果について下記のとおり報告された。

選挙権者 456名

投票総数 97票

有効投票 97票

(被選挙人でない記名 1名、同姓同名者の記名 1名)

開票結果(4票以上の得票者)

黒須俊夫	27	阿部 潔	8	飯田良明	4
大國充彦	21	加藤晴明	8	岡 隆光	4



水越 伸 1 7	濱田純一 8	小内純子 4
遠藤 薫 1 4	横井茂樹 8	北村順生 4
今田寛典 1 2	吉井博明 8	後藤嘉宏 4
安田孝美 1 2	柴田邦臣 7	坂元 章 4
橋元良明 1 1	岩佐淳一 5	松浦さと子 4
森谷 健 1 1	岡田安功 5	三輪眞木子 4
吉見俊哉 1 1	是永 論 5	山口いつ子 4
須藤 修 1 0	田中 淳 5	
松田美佐 9	守弘仁志 5	

3 票以下 93 名（省略）

### （3）次期理事・監事の選出について

理事選出結果を受けて、阿部会長から次期理事（選出理事 10 名、推薦理事 5 名）を以下の 15 名に委嘱したいとの提案があり、原案どおり承認された。

<選出理事>

黒須俊夫，大國充彦，遠藤 薫，今田寛典，安田孝美，橋元良明，森谷 健，  
吉見 俊哉，須藤 修，吉井博明

<推薦理事>

北村 順生（東北），柴田邦臣（関東），岡田安功（中部），吉田 純（関西），  
守弘 仁志（九州）

<監 事>

加藤清明，横井茂樹

### （4）次期会長・副会長の選出について

本学会規約第 14 条(1)「会長及び副会長は新たに選出された理事の互選により選出し、総会の承認を得なければならない」により、理事会は理事選出選挙後、「新たに選出された理事」による無記名投票を行い次期会長・副会長を選出した。その結果、阿部会長から以下の提案があり、異議なく承認された。

会 長 黒須 俊夫

副会長 大國 充彦

副会長 遠藤 薫

### （5）「著作権に関する取扱規程」（案）について

黒葛法規委員長から日本社会情報学会としての著作権の取扱いに関し、以下の規程(案)が提案され、異議なく承認された。

#### 著作権に関する取扱規程（案）

平成 19 年 9 月 8 日 制定

#### 第 1 条（目 的）

本規程は、日本社会情報学会（以下、本学会という。）が編集する著作物の編集著作権及び著作権の帰属ならびに著作権の利用について規定することを目的とする。

2 本規程は、本学会が他の学会等と共同で編集した著作物の編集著作権及び著作権の帰属ならびに著作権の利用に準用する。

#### 第 2 条（編集著作権）

本学会が編集した著作物の編集著作権は、本学会に帰属する。

### 第3条（著作権）

本学会が編集する著作物に掲載された研究論文等で当該著作物を特定できる方法でその氏名等が明示されている著作物の著作権は、当該著作物の著作者に帰属する。

2 本学会が編集する著作物で、著作者各人の創作した部分に対応する氏名等を特定又は明示されないものの著作権は本学会に帰属する。

3 本学会が編集する著作物で、その著作権について別段の定めをした著作物の著作権は、前2項の規定にかかわらず、その定めるところによる。

4 第1項の著作物にかかる著作者人格権は、著作者に帰属する。

### 第4条（著作権利用の委託）

本学会が編集する著作物の全部又は一部で、その著作権を本学会が保有しない著作物について、著作者は著作権の一部（複製権、翻訳権等、出版権、公衆送信権、送信可能化権等）の利用を本学会に委託するものとする。なお、著者自身が翻訳など自らの用途に利用することに制限はない。

2 前項の著作権の一部の利用は、本学会が行う学術研究の普及発展を目的とする事業の範囲とする。

### 第5条（著作者の責任）

本学会が編集する著作物に掲載された個々の著作物に関して問題が生じた場合には、著作者の責任において処理するものとし、本学会はその責を負わない。

2 前項に規定する問題が生じた場合、本学会はその問題や処理の内容について著作者に事情を聴くことができるものとする。

3 著作者は、前項の問い合わせに対して誠実に対応しなければならない。

### 附 則

1 本取扱規定は、制定の日から施行する。

### （6） 会費未納が3年以上に及ぶ会員の扱い（案）について

長田総括理事から資料に基づき多年度会費未納者の状況について説明があった後、その扱いについてつぎの提案があり、異議なくこれを承認した。

2006年度末現在、3年以上の会費未納者を以下のとおり処置する：

1) 正会員については2007年度末までに会費納入督促を行うとともに、2008年3月末で3年以上の滞納者を休会とする旨通知し、2008年4月から発効する。

2) 学生会員29名については除名する。ただし、勤務先等がわかっている会員には別途、正会員としての入会を促す。

### （7） 2006年度決算（案）および監査報告について

長田総括理事から下記の決算報告、引き続き松田監事から監査報告があり、異議なく承認された。

### （8） 2008年度予算（案）について

長田総括理事から以下の2008年度予算（案）が提案され、異議なく承認された。

## 2008年度予算案

収入		支出	2008年度予算案	2007年度予算案
会費	3,000,000	大会運営費	400,000	400,000
	$330 \times 0.8 \times 1 \doteq 260$			
	$122 \times 0.6 \times 0.5 \doteq 37$			
繰越金	1,000,000	学会誌発行費	850,000	850,000
		会誌編集委員会運営経費	300,000	300,000
		研究委員会運営経費	250,000	250,000
		学会賞(含選考経費)	150,000	150,000
		会費引落手数料	50,000	50,000
		理事会運営費	650,000	650,000
		理事選出選挙経費	0	100,000
		人件費	350,000	350,000
		通信費	200,000	200,000
		消耗品費	200,000	200,000
		名簿作成費	0注	0
		予備費	300,000	500,000
	4,000,000	合計	3,700,000	4,000,000

注：隔年に発行している「会員名簿」を2007年度末に発行するので、計上しない。  
2006年度予算に名簿作成費が計上され、執行されなかったもので、これによって正常に復する。

### (9) 2007年度学会研究奨励賞の取り消しについて

## V. 2007年度合同研究大会報告

2007年度JSIS・JSAI合同大会が、2007年9月8日(土)～9月10日(月)(JSISは8,9日)、統一テーマ「激動する時代に応える社会情報学」のもとに名古屋大学工学部で開催されました。また新しい試みとしてJSAIの提案を受け「研究発表賞」が創設され、「大学院生その他常勤の研究職についていない会員」を対象に研究発表の内容、プレゼンテーション、研究内容についての今後の期待度について判定し、表彰することになりました。

以下、大会の概要を報告いたします：

- 大会参加者：参加者総数 257名 (JASI会員 63名, JSIS会員 84名, 非会員 36名, 名誉会員 2名, 一般 143名, 学生 40名)

講演聴講者 62名

#### ● 基調報告

吉田民人「社会情報学の時代超越性と時代被拘束性」

下田博次 (群馬大学教授・ねちずん村村長)

「ケータイ社会の光と影～思春期メディアとしてのケータイ電話の問題点～」

併せて、シンポジウム「ケータイ社会と私たちの安全」も行われました。

#### ● 自由報告

自由報告には23のセッションで74件の発表がありました。一件につき発表20分、討論5分とかなりの時間をとるとともに、研究発表賞が設けられたため各セッションに座長のほか、コメンテータが一名ついたので、突っ込んだ討論が行われました。この形式が定着すると自由報告の水準が一層高くなってゆくと期待されます。

●合同ワークショップ

第1ワークショップ：社会シミュレーションーシミュレーションが切り拓く社会情報学ー

第2ワークショップ：「個人情報保護法の理想と現実」

第3ワークショップ：「少子高齢社会に社会情報学は何ができるか」

第4ワークショップ：「社会情報学の分野における情報教育に関するワークショップ」

●チュートリアル：地理情報システム(GIS) プログラム

GISチュートリアル：「GISの利用動向と課題」

GISワークショップ：「環境教育におけるWeb-GISの利用」

●特別講演：「逆発想・新発想」

●自治体ワークショップ：「地域への期待を創るGISー地域の表現を考える」

●研究発表賞

JSIS・JASI合同研究大会に今回創設された研究発表賞には3名が選考され、うち2名がJSIS会員でした。ここにお二人の氏名とテーマを公表し今後のご活躍を期待します。

○森岡武史（北海道大学）（JSIS）

「インターネットの匿名性によるDeindividuationとオンライン・コミュニティの秩序」

○Stuart Healey（金沢大学）（JSIS）

「A study of social inclusion and ICT engagement in chusankanchiiki (Mountainous) areas」

## VI. 学会誌『社会情報学研究』原稿募集

以下の要綱にしたがって学会誌『社会情報学研究』に奮ってご投稿ください。

- |  |
|--|
| <p>A. 投稿原稿は、査読委員会により査読を受けた後、掲載の可否を編集委員会が決定する。</p> <p>B. 投稿予定者は、4月30日（1号）または9月30日（2号）までに、論文のタイトルをハガキで学会事務局に連絡する。</p> <p>C. 投稿原稿の締切は5月31日（1号）または10月31日（2号）を必着厳守とする。投稿者は、審査用の原稿を3部およびフロッピーを学会事務局に送付する。</p> <p>D. 原稿等の送り先<br/>13巻1号 〒432-8011 浜松市城北3-5-1<br/>静岡大学情報学部 藤井研究室気付<br/>日本社会情報学会事務局 宛<br/>TEL 053-478-1522(直), FAX 053-478-1522(直)</p> |
|--|

なお、詳細は学会 Web ページ (<http://wwwsoc.nii.ac.jp/jsis>) の投稿要領、論文執筆の手引きをご覧ください。

## VII. 会費納入のお願い

年度が替わりましたので、2008年度会費の納入をお願いいたします。また未納年度の会費のある会員は合わせて納入ください。「銀行引落とし」でない会員には振り込み用紙を同封いたしましたのでご利用ください。

なお、多年度未納の方につきましては、昨年度総会決定にありますように学会誌等の発送を差し止めるなどの措置を行うことをご了承ください。

#### VIII. 事務局より

4月から事務局を静岡大学情報学部でお引き受けすることになりました。何分不慣れなためご不便をおかけすることもあるかと存じますが、お気づきのことがあれば事務局へご連絡ください。

さて、事務局最初の仕事として学会ニュース No.29 をお届けします。理事会が交替したためもあって学会大会のアナウンスがやや遅れましたが、スケジュールに留意し、奮って多数の方が参加・発表されることを期待しています。

**日本社会情報学会事務局** 〒432-8011 浜松市城北3-5-1  
静岡大学情報学内  
TEL 053-478-1522(直), FAX 053-478-1522(直)  
e-mail : [s-info@sgu.ac.jp](mailto:s-info@sgu.ac.jp) URL : <http://wwwsoc.nii.ac.jp/jsis/>